

皆さん、こんにちは。

電光掲示板が設置され、様々な大会の入賞報告が掲示されています。この後の伝達表彰式でも入賞実績が披露されますが、多くの生徒諸君が成果を上げてくれました。みんなで喜びを分かち合いましょう。

その一方で、目立たないながらも、自分の時間と労力を費やし、所属する集団のために貢献してくれた生徒も沢山います。例えば、校則改正に取り組んでくれている「校則検討プロジェクト」メンバーの生徒、体育小会の準備・運営等、サポートに回ってくれた生徒などです。こうした「縁の下の力持ち的」な生徒の頑張りがあって、学校が回っていることを改めて認識したいと思います。集団のために行動してくれる生徒に感謝し、お礼を言える学校にしましょう。

さて、今日は、いつもと違う視点で、世界における日本の位置、日本の現状等を、いくつかの図表や写真を用いて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。その後、君達に期待することをお話し、最後に学年別にエールの言葉を贈って終わりにします。

では、画面共有します。

(以下、画面共有した図表・写真等は、著作権の関係から掲載を省略し、★資料番号【件名】として、どのような資料を提示したかを示し、後に※として、資料から分かることを簡単に記載することにします。)

★資料1・2・3【時価総額ランキングの表】

まず、この表を見てください。世界の企業の時価総額ランキングを、平成元年と平成31年の30年間で比較した表です。

気が付いたことを複数あげてください。30秒測ります。隣りの人と相談してもいいです。

1枚目は、トップ20社の表、2枚目は、21位から40位の表、3枚目は、50位までの表です。

※資料から分かる主な事実

- ・日本企業が上位のランキングから姿を消した
(トヨタ自動車でも平成31年度は43位に後退した)
- ・30年間で、企業の時価総額が桁違いに大きくなった
(ランキングの資料は順位に目がいきがちだが、数字にも着目する必要がある。
平成元年1位のNTTの時価評価額は、平成31年は50位にも入れない数字になっている)
- ・平成元年の上位に位置していた日本の銀行は、今はもうない
(金融機関の再編統合が進み、違う名前の銀行になっている)

★4【将来GDP推計ランキング】

次は、この表です。GDP、国内総生産のランキングの実績と、将来推計の表です。10秒測ります。

※資料から分かる主な事実

- ・日本の相対的位置が下がる
- ・インドネシアやメキシコが、徐々に上位に上がってくる
- ・2050年に向けてアフリカの国（ナイジェリア）も顔を出すようになる

★5【鎌倉時代から平成時代の人口推移グラフ】

世界における日本の相対的位置が低下する大きな要因の一つに、少子化の問題があります。これは、鎌倉時代から現在、そして今後の推計をグラフにしたものです。見てのとおり、急激に人口が減少していきます。皆さんも、小学校や中学校の統廃合の話や、地元空き家が増えるという話を聞いたことがあると思います。

でも、世界的にみると、人口が増える国もいっぱいあります。

先ほどのGDP推計ランキングで、今後順位を上げる国は、その多くが、今後人口が増えていく国です。

★6【ナイジェリア、エコアトランティックの写真】

次は写真です。どこの国がわかりますか。

★7・8【ドバイの写真】

先ほどの写真、ドバイと思った人がいるかも知れませんが、ドバイはこのような景色です。

★9・10【エコ・アトランティックの現在の写真】

実は、先ほどの写真は、ナイジェリアのラゴスという都市で計画が進行している「エコ・アトランティック」の完成予想イメージでした。現在の様子は、こんな感じです。

建設関係や不動産・金融関係のビジネスマンがこうしたホテルに滞在し、高層階の客室から、将来の都市計画に思いを巡らせる姿が想像できます。

バブル経済が崩壊した頃、当初は「失われた10年」と言われることがありましたが、その後も日本経済は元気を回復することがないまま推移し、結果的に国際的な位置づけを下げ続けているのです。今では「失われた20年、失われた30年」と言われることもあるくらいです。

一方で、アジアやアフリカでは人口が増え、経済的にも急成長する国が続出していくことが予想されています。

★11【国別に見る17～19歳の意識】

次は、このグラフです。日本財団という財団が、2019年に実施した国際調査「18歳

意識調査」の結果です。気が付いたことを複数あげてください。10秒測ります。

※資料から分かる主な事実

- ・「自分を大人」、「責任ある社会の一員」と考える日本の若者は約30%から40%に留まり、他国の3分の1から半数近くしかいない
- ・「将来の夢を持っている」、「国に解決したい社会課題がある」との回答も他国に比べ30%近く低い
- ・「自分で国や社会を変えられると思う」人は5人に1人

簡単に言うと、日本の若者は大人の自覚、社会の一員という自覚に乏しく、社会を変えたい、変えられると思っていないということになります。

高志高校の生徒は、そうではないことを期待したいです。

「失われた30年」を取り戻し、日本人がかつて経験したことがない人口減少が確実な未来社会を担うのは、私や先生方のような今の大人の世代ではなく、皆さん方と、皆さんに続く、小・中学生の皆さんということになります。

★12【ラーニングコンパス（学びの羅針盤）の図】

私は、ことあるごとに、校訓「克己、創造、敬愛」や、教育目標「国際社会および地域社会に貢献する知徳体の調和のとれたリーダー」ということを、生徒の皆さんに言い続けてきました。

社会人としての教養を積み、自分でルールを変え、社会を変え、世の中の困った人を笑顔にすることができる人に育ってくださいと。

君達には挑戦する権利と失敗する自由があります。

大人の言いなりにならず、意識的に視野を広げ、チャレンジを続けましょう。

新型コロナの影響で、今は海外に出ることが難しいですが、積極的に海外に飛び出し、未来社会を担う社会のリーダーとして自分に何ができるか、考えるようにしましょう。

これからの高校生活、大学生活を考えるキーワードとして、「ラーニングコンパス（学びの羅針盤という意味です）」「生徒エージェンシー（適切な日本語訳がありません）」という言葉をプレゼントします。

今日は時間がありません。この話の続きは、3月の卒業式の式辞や、生徒会誌「緑葉」の巻頭言に回すことにします。3月まで待てない人は、インターネットで検索してください。そして、友達や先生方と、社会や将来に対する考え方や、高校生活の過ごし方などについて、ぜひ話し合ってみてください。

いろいろなことがあった、新型コロナに振り回された2年目が終わり、やがて新しい年を迎えます。

来年は、今年以上に「克己・創造・敬愛」にもとづく行動を実践し、将来「国際社会および地域社会に貢献するリーダー」になるための経験を、積み重ねる1年にしましょう。

最後に、学年別に個別のメッセージを送って、終わりにします。

3年生諸君。

大学入学共通テストの前日に、放送で声だけの激励をすることになっていますが、私が、次に、諸君に対面して話をするのは、卒業式になります。

「精一杯のことはやった。今持っている実力は発揮できた。」という、晴れ晴れとした表情の君たちとお会いできることを楽しみにしています。

1、2年生の後輩、高志中学生、先生方、みんなが応援しています。

現役生は試験当日の朝まで学力が伸びます。

心身の体調管理に気をつけ、モチベーションを維持して、頑張りましょう。

1、2年生諸君。

1年後、2年後は、君たちの番です。

この年末年始は、高校卒業後、大学で何をしたいのか、大学・大学院を卒業した後、社会人として、どのような人生を歩みたいのかなどについて、しっかりと考える年末年始にしてください。

ぜひ、それを言葉に書き残して、家族や友達、先生方と話し合ってみてください。

これで終わります。よいクリスマス、よい新年を迎えてください。